

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公開番号】特開2005-232437(P2005-232437A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-369198(P2004-369198)

【国際特許分類】

C 09 J 175/04 (2006.01)

C 08 G 18/65 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 09 J 175/04 Z A B

C 08 G 18/65 Z

C 09 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月19日(2007.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、酸性リン酸エステル(B)と、エポキシ基を有するシランカップリング剤(c - 1)及びメルカプト基を有するシランカップリング剤(c - 2)からなる群より選ばれる少なくとも1種のシランカップリング剤(C)とを含有してなり、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)がポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られ、前記ポリオールの少なくとも20重量%がポリエステルポリオールであるとともに、

前記酸性リン酸エステル(B)が、炭素原子数1~4の範囲のアルキル基を有するリン酸モノアルキルエステル及びリン酸ジアルキルエステルからなる群より選ばれる少なくとも1種である湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【請求項2】

前記ポリエステルポリオールが、直鎖状脂肪族ポリエステルポリオールを含むものである請求項1に記載の湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【請求項3】

前記ポリオールが、ポリエーテルポリオールをも含むものである請求項1に記載の湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

即ち、本発明は、イソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、酸性リン酸エステル(B)と、エポキシ基を有するシランカップリング剤(c - 1)及び

メルカブト基を有するシランカップリング剤(c - 2)からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のシランカップリング剤(C)とを含有してなり、前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)がポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られ、前記ポリオールの少なくとも 20 重量 % がポリエステルポリオールであるとともに、前記酸性リン酸エステル(B)が、炭素原子数 1 ~ 4 の範囲のアルキル基を有するリン酸モノアルキルエステル及びリン酸ジアルキルエステルからなる群より選ばれる少なくとも 1 種である湿気硬化性ホットメルト接着剤を提供するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

まず、本発明で使用するイソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー(A)について説明する。

当該ウレタンプレポリマー(A)は、常温で固体又は粘稠な性状を有するものであり、ポリエステルポリオールを少なくとも 20 重量 % を含むポリオールと、ポリイソシアネートとを反応させて得られるものである。